

＜テーマの設定理由＞

日頃から広いホールを走ったり、リズム遊びをしたりと、体を動かして遊んでいるが、走るだけではなく、マットや肋木、ハシゴ、巧技台等、色々な設定を組み合わせることで、子どもたちがどのようにイメージを持ち、からだを使って遊ぶのか。一人一人の体の動きや、友達同士で遊びがどのように広がっていくのかを見ていく。手指をしっかりと開き、握る、掴む、這う、転がる等全身を使いながら楽しく遊ぶ中で体の使い方、経験の少ない体の動きを促していく。

＜活動スケジュール＞

ホールの広い空間で道具を使いながら設定遊びを行う。

＜環境をデザインする・探求活動の実践＞

思い切り体を動かしていくことができるように、ホール全体を使って設定遊びを行った。スタートは両脇から進んでいき折り返して中央の場所を通る、M字型のコースを設定する。ホールに来ると、目を輝かせて、どこから行くか友達と話をする姿がある。高所へ上ることを好む子が多く、布団棚への梯子をかけ登っていく楽しみを感じながら体を動かしていた。登る楽しみを感じながら視線を前に向けていることが多かった。

肋木は縦向きと横向きの2種類にした。縦向きの方は一番上まで登り方向転換をして反対側を降りていく。自分のペースでしっかりと手をつかみ、足を置く場所を探りながら進んでいた。

横向きの方には縄をクモの巣状に張った。「縄に当たらないようにいこう」と自分たちで通り方を決め、身をよじらせたり見えないところの体の動かし方に気をつけながら夢中で遊んでいた。

鉄棒ではつばめの姿勢で10秒保持または前回りをしていった。前に並んでいた友達が前回りをしているのを見て、今までやっていなかった子が挑戦してみようとする姿も見られた。

鉄棒の次にマットで前回りを設定した。手でしっかりと支え首を中に入れられるように補助を行った。

巧技台跳びはジャンプして渡ったり、足を伸ばしてゆっくり渡ったりなどそれぞれの速度で進んでいた。前に人がいる場合は止まったりゆっくり進んだり自分たちで考えながら進み、順番を守りながら進んでいた。少し遠いところに挑戦しようとするなど自分で課題を設定して楽しむ様子もあった。

園名：社会福祉法人たつの子の会
羽村しらうめ保育園

活動日時：令和7年12月2日
午前中

クラス名：きりん組（4歳児クラス）

年間テーマ：設定遊び

＜活動の為に準備したもの＞

- ・体技台
- ・梯子
- ・縄
- ・鉄棒
- ・マット
- ・布団棚
- ・肋木



＜振り返り＞

- ・ やってみたいところを自ら選んで遊び姿があった。少し難しい設定にすることで挑戦する気持ちも持っていた。
- ・ コースの順路を設定することで衝突などの怪我を防ぐことができた。一方で進みがゆっくりになるところで待ち時間が発生し並んで待つこともあった。全員に経験してほしいことを中央に設定したが、列が長くなってきた場合は傾合いを見て設定を変化させたり、子どもの姿や子どもの言葉を聞きながら、工夫をした。
- ・ 高所を好む子が多いクラスのため、登る設定を多めに入れながらも、不足しがちな低い姿勢を求められる設定も組み込んだ。好きな設定と混ざりながらであったためか低い姿勢も嫌がることなく楽しんで繰り返し行う様子が見られた。
- ・ 手指をしっかりと開き、握る、掴む。この動きが自然と遊びの中で引き出せるように設定を組んだ。はしごや肋木等ある程度の高さを出したことでしっかりと力を使いながら遊ぶことができた。